

今日は終業式。今学期は、新型コロナウイルスの影響や豪雨の影響を大きく受け、生徒のみなさんにとっても大変な毎日でしたね…。突然の臨時休校、部活動の大会の中止、学校行事の中止、延期に変更・・・、休日には、楽しみにしていた外出の予定もキャンセル、と、残念な思いで日々を過ごしていた人もいるでしょう。そんな日々だからこそ、皆さんが学校につどい、学習や部活動に励む何気ない日常が、とてもありがたく、尊いものにも感じられました。

●感染予防と学びの機会の保障について

連日、新型コロナウイルスの感染者数が報告され、亡くなる方も増加しています（7月26日現在、感染者数15,581,009人、死亡者数635,137人（いずれも世界全体の数））。

この未知のウイルスと闘っている患者さんを、強い使命感をもって、助けよう、支えようと最前線で奮闘する医療従事者の皆さんがおられますね。医療従事者の皆さんだけではありません。小さな子どもがいる家庭、高齢者、治療を受けている人とその家族、自宅待機している人、日常生活を送って社会生活を支えている人・・・、この事態に対応をしているすべての人に、あらためてねぎらいの気持ちを持ち、敬意をはらいましょう。



そして、感染予防に努めているあなた自身も、このコロナ禍に「最前線で」立ち向かっている、称えられるべき存在です。毎朝検温し、マスクを着用し、手洗いや消毒をし、自分の体調管理につとめながら学校生活を送ってくれたこと、よく続けてくれました。臨時休校解除後は、皆さんの正しい行動によって、皆さんの学びの機会が保たれたと言えるのではないのでしょうか。皆さんは学びの主体であり、皆さんには教育を受ける権利があります。あなた自身の学ぶ権利を、2学期以降も大切に守っていきましょう。

●人権標語を考えよう！

さて、邇摩高校では、毎年夏休みに、人権について考え、人権意識を高めることを目的に、生徒の皆さんに標語を作成してもらっています。詳しくは別に配布されたプリント「令和2年度 邇摩高校 人権に関する標語の作成について」を読んでみて下さい。

題材は、日常生活のささいなことで構いません。場面は、学校生活に限りません。学校、家庭、地域で、自分の権利は、守られていますか。周囲に、誰かを傷つけたり悲しませたりするような言動はありませんか…。反対に、自分自身が「大切にされているな」、「守られているな」、そう感じる場面はありませんか。皆さんの豊かな感受性でつくられた標語の提出を、楽しみにしています！

少し短い夏休み、それでも長い夏休み…。心身ともに、おだやかに過ごせますように。
(人権・同和教育推進スタッフ 森脇)

▼昨年度の校内優秀作品(一部)

見つけよう 人それぞれのすばらしさ

一言ですくえる命がそこにある

ひとりじゃない みんながいるから大丈夫